

ちょっと道德

庭坂小学校
道德便り

No.15

平成27年12月17日(木)

ちょっと紹介，お家の方々からの 授業参観のメッセージ！

12月8日の授業参観について、たくさんのメッセージが寄せられています。ありがとうございます。道徳的な内容について家族で話し合ったり、親として大人としてご自分の生き方を振り返ったりと、学校の授業から家庭へと道徳教育が広がる感じが感じられ、大変うれしく思います。みなさんからいただいたメッセージは、教職員・子供たちの大きな励みにもなります。今後いただいたメッセージを少しずつ「ちょっと道德」でご紹介していきたいと考えています。授業に関わることはもちろん、その他のことでも何かありましたら、これからも担任を通してお寄せください。

※ 紙面の都合上、一部抜粋しております。ご了承ください。

庭坂小のよさ，庭坂小のために・・・

○ 家で庭坂小のよさは、スポーツ少年団の活動がさかんなことだと話し合いました。自分も小学生の頃、庭坂小でサッカーをしていたこと、たくさんの地域の方に支えられていたこと、だからこそあいさつを大切にしていたこと、あいさつのよい学校はスポーツも強いと話しました。
(清野礼子さん)

○ 卒業までに学校のためにどうしたいかと聞いたら、「委員会活動で1～6年がもっと交流を深められるような企画を考えたい。」「ボランティアや委員会活動を積極的に行いたい。」とのこと。私が庭坂小に通っていた頃も、6年生が4、5年生に鼓笛を教えていました。それが今でも続いていることはすごいなと思います。これぞ、庭小の伝統！
(紺野めぐみさん)



あなたにとって「家族」とは？ 「家族のために」していることは？

- 教科書のお母さんのようにはできませんが、愛情を持って子供に接していれば、きっと子供は感じてくれると思いました。
(菅野久美子さん)
- あなたはこの家になくってはならない存在なのだということを話しました。家族がお互いを思いやれるためにどうするべきか話し合いました。
(道山絵梨さん)
- 道德の授業は、改めて自分自身を見つめ直す時間だと思いました。いつも家では叱ってばかりで、子供の言葉に耳を傾けていなかったよう気がしました。これを機会に家族でいろいろ話し合いながら、絆を深めていこうと思います。
(白井美和子さん)
- 私が何気なくお願いし、子供は半分嫌々やっているような手伝いを互いに見直すよい機会になりました。手伝いにも意味があること、家族のために何かをしようとする気持ちなど、当たり前のことをゆっくり考えることがなかなかなかったので、とてもよかったです。親子で手紙を書き合い、普段なかなか言えないようなことを手紙では伝えられる部分もあり、照れくさくもうれしかったです。
(笹沼智美さん)



まだまだたくさんのメッセージが寄せられています。3学期にまたご紹介します。お楽しみに！

